

marina park city

西宮浜

マリナコミュニティ



【3週間の教育交流】
西宮浜義務教育学校に今年6月、ワシントン州立大学から教育実習生10人と教授2人が来日し、約3週間、学校生活を共にしました。

昼休みには、ランチルームでUNOやドミノ、トランプ、絵本などを囲み、遊びを通して交流。最初は英語で話すことをためらっていた子どもたちでしたが、日を過ごすうちに笑顔が増え、「もっと話したい」「今度は日本の遊びを英語で紹介したい」と、気持ちの変化を話していました。

教育実習生からは「日本の子どもたちが積極的に話しか



実習生と教授たちは西宮浜の生徒・児童たちにたくさんの学びをくれました

世界とつながる力は、
日常の中で育つ

けてくれて、本当にうれしかった。この経験をアメリカで教師になった時に生かしたい」との声が。

同行した教授は「日本語が十分に分からない授業を受けたことで、子どもの立場になって考える貴重な学びだった」と話していました。

◆ ◆ ◆

「最初は何を話したらいいか分からなくて緊張しました。でも、一緒に過ごしているうちに、もっと話したくなりました」と、教育実習生との交流を振り返り、4年生児童が話しました。一方、1年生から英語を学んできたこともあり、初日から自然に英語で話しかける児童の姿も。その様子を見て、子どもたちの力は「環境」と「経験」の積み重ねによって育まれることを改めて感じました。

【世界につながる日常の学び】

西宮浜義務教育学校では、ICT教育、英語教育、探究的な学びを柱に、9年間を見通した教育を行っています。

大きな特色の一つが、外国語指導助手（ALT）が日常的に学校生活に関わっている

ことです。授業だけではなく、学校生活のさまざまな場面で英語に触れる機会があり、子どもたちは自然と英語を「使う言葉」として身に付けていきます。

英語は教科書の中だけで学ぶものではなく、人とながめるためのコミュニケーションツール。その環境が日々の学校生活の中にあることは、西宮浜義務教育学校ならではの魅力です。

【取材を終えて】

子どもたちの「もっと話したい」「もっと知りたい」という言葉が、今も心に残っています。学ぶとは、知識を得ることだけではなく、人との出会いを通して自分の世界を広げること。環境は子どもを育て、経験は未来を広げる。今回の取材を通して、その言葉の意味を改めて実感しました。

日々積み重ねている学びが、子どもたちの「伝えたい」「挑戦したい」という気持ちに育み、未来へつなげる力になっていること。それを子どもたちの笑顔が教えてくれました。

(川端)

西宮市の狂犬病予防集合注射は、本年度から西宮浜会場が廃止



廃止に伴い、交通手段の問題などで困っている飼い主さんもおられるのではないのでしょうか。そこで、花のまち1階のアイリス動物病院・森田院長に話を聞きました。

「日本では昭和32(1957)年以降、国内での狂犬病感染は報告されていません。しかし、犬の飼い主には年1回の狂犬病予防注射を受けさせる義務があります。未接種の犬が、人や他の犬を噛んだ場合、狂犬病に罹患した可能性を慎重に確認する必要があり、関係者の負担も大きくなります。また、ペットホテルやトリミングでは接種証明が求められることがほとんどです」

なお、注射済票は、西宮市動物管理センターで別途、手続きと手数料が必要です。予防注射は大切なので、必ず接種しましょう。(藤原 亜)

南海トラフ地震に備える!

災害時の「ごみ・トイレ問題」を考える

西宮浜において、最も大きな脅威である「南海トラフ地震」とそれに伴う津波。発災時に最優先されるのは人命救助や生活の確保ですが、その後に必ず直面するのが「多量のごみ問題」です。

「西宮浜の防災・減災を考える会」では、第14回のテーマとしてこの問題を取り上げました。今回は、西宮市環境局による講演内容と住民同士によるディスカッションの様子を紹介します。

(※詳細は『西宮浜の防災・減災を考える会通信 No.14』をご参照ください)

ごみの分類	具体例	特徴・課題
①がれき類	倒壊・損傷した家屋の破片など	復旧・復興の妨げとなる
②片づけごみ	室内で破損した食器、家具、電化製品など	室内の片付けに伴い一気に排出される
③生活ごみ	停電で腐敗した冷蔵庫内の食品、生ごみなど	収集が滞ると衛生環境が急激に悪化する
④災害用トイレごみ	汚物をポリ袋に入れ、凝固剤で固めたもの	断水時に大量発生し、最も保管に困る

災害時に発生するごみ

●災害時に発生するごみの種類

災害時に発生するごみは、大きく分けて左記の四つに分類されます。これらが一度に大量発生するため、通常の収集ルートは機能しなくなりま



当日の資料より



災害用トイレの例

第14回の会合では、西宮市環境局の職員を招いて、「災害時のごみ・トイレ問題への対策と地域での備え」と題した講演を聞きました。

●トイレの備蓄が最重要
地震で水洗トイレが使えなくなった事態を想定し、「災害用トイレ(凝固剤)」と「ごみ袋」の備蓄は不可欠です。

行政(西宮市環境局)からの講演とアドバイス



当日の資料より

●災害ごみは通常時の「数十倍」
処理には多大な時間がかかります。その際、最も懸念されるのが「不法投棄」です。「早く片付けたい」「出し方が分からない」といった理由で不法投棄が起きると、衛生悪化や火災の危険、緊急車両の通行の妨げなど、さらなる二次災害を引き起こします。



講演の様子



仮置き場のイメージ

混乱を避けるため、普段以上の「ごみの減量」「徹底した分別」「二時保管の工夫」をお願いします。また、仮置き場の設置など、災害の状況に応じた行政からの最新のアナウンスに従って、正しいごみ出しを行ってください。

行政から住民の皆さんへのお願い

●収集には優先順位がある
災害時は、衛生面への影響が大きい「生ごみ」などの生活ごみが優先され、「片づけごみ」や「がれき類」の処理は後回しにせざるを得ません。

1 生活・避難用品・衛生に関するごみ

日常生活の維持や避難所生活、衛生面において発生するごみです。

食料関連：冷蔵庫内の腐った食べ物。食品の空き容器

衛生・介護：トイレごみ、介護のごみ

2 家庭内の破損物(家財道具・家電)

地震や強い揺れなどで破損・不要となる家庭内の物品です。

家財・家具：壊れた家財道具、濡れた畳

家電・照明：壊れた家電、壊れた照明

食器・ガラス：食器・ガラス、割れ物

3 被災・津波・環境由来の大型ごみや自然物

津波、洪水、土砂崩れなどの自然災害によって運ばれてきたり、破壊されたりした大型の廃棄物です。

自然物・土砂：津波による流木、汚泥、土砂

車両・船舶：車、船、自転車

物流・産業関連：海から流れつくコンテナ、パレット、産業団地からの漂流物

4 その他の問題

ごみ出し・高層階に居住の高齢独居者は、エレベーターが止まっていると指定場所まで持っていけない

・長期間袋の中に入れてしまうとガスが発生し膨れてくる

問題点の洗い出し



カラス対策シートのイメージ（ごみが完全に見えないようにしましょう）

西宮浜ならではの課題と デイスカッション

後半のグループデイスカッションでは、まず、南海トラフクラスの地震が発生し、津波も発生した場合にどのようなごみが出るかを考えました。「西宮浜の建物は新耐震基準で建てられているため、家屋倒壊によるがれきよりも、生ごみやトイレごみといった衛生系のごみの方が深刻ではないか」という意見が多く出されました。これらを踏まえ、

「家庭ごみ」「トイレごみ」「カラス対策」の三つの視点から、地域でできる具体的な解決策を検討しました。

デイスカッションで出た 解決アイデア

■家庭での対策（ごみ・分別）
・ごみ袋をいっぱいにならず、少し余裕を持って縛ることで、臭気漏れや破れを防ぐ
・平時以上に徹底して分別し、自宅内での一時保管の工夫をする

■トイレごみ対策
・感染症対策や臭気対策として、地域やマンションごとに「災害用トイレごみ専用のごみコンテナ」を事前に用意しておく

■カラス対策
・ごみステーションの「見守り隊」を住民間で設置する
・収集待ちのごみ袋は、ブルーシートやシートなどで覆い、カラスの視界から隠す
・分別を徹底することで、カラスが狙う「生ごみが入った袋」自体を減らし、隠す対象を絞り込む

1 家庭ごみ対策

家庭ごみの管理において重要なのは、「発生を抑えること」「臭い対策」「適切な分別と一時保管」です。

発生抑制	災害ごみをなるべく発生させない意識を持つ。冷蔵庫内のものを優先して消費する。備蓄食品は缶詰からパウチ製品へシフトすることでごみを減らす。食器にはラップをかぶせて使い、洗い物（ごみや排水）を減らす。
臭い・衛生対策	生ごみや臭いの出るごみは他のごみと分ける。消臭袋に入れたり、分別して新聞紙に包むことで臭いを防ぐ。家庭内にふた付きのごみ箱やコンテナを用意する。
分別と保管	日頃からの分別を徹底する。リサイクルできるものはリサイクルし、ごみは小さくまとめる。粗大ごみはすぐに捨てず、とりあえず1週間程度は自宅にそのまま置いておく。
地域での対応	避難所でのごみ置き場をあらかじめ考えておく。自治会や管理組合などで仮置き場を設定したり、緊急時のごみ袋使用ルールを市側で制定してもらうよう働きかける。

2 トイレ対策

断水時などに最も深刻化する排泄物（し尿）の処理は、「事前備蓄」と「衛生的な保管」が鍵となります。

事前の備え	非常用トイレ（携帯・簡易トイレ）は必ず準備しておく。自治体からの支給（？）も含め、雑菌防止の薬剤を備蓄しておく。
処理方法	排泄物は凝固剤で確実に固め、目印をつけておく。汚物用の密閉袋を用意し、ごみ袋に入れる際は破裂を防ぐため8割程度にとどめる。
保管と目隠し	処理したものはふた付きのごみ箱に入れる。専用の排泄物置き場を設置する。

3 カラス・害虫対策

ごみ収集が停滞した際の、野生動物や害虫による「衛生環境の悪化（ごみの散乱）」を防ぐためのルールです。

防護の徹底	視覚的な配慮（見えなくするため）として、シートなどの布をかぶせる。
適切な管理	散乱を防ぐためにも、基本的な「分別」を徹底する。
地域が目	運動がてらごみ置き場を見守るなど、地域住民の目で管理・監視を行う。

当日出た解決策

災害時のごみ問題を乗り越えるために最も重要なのは、一人ひとりの「徹底した分別」です。発災後に慌てないよう、各管理組合や自治会などの地域単位で、「自分たちの街のごみをどう管理するか」を事前に検討し、ルールを決めておくことが必要です。

最後に
大切な西宮浜地域の衛生環境を守り、地震発生時のごみを減らすために、普段からできる備えを始めましょう。
・家具などを固定する
・不要な物は処分しておく
・日頃からごみを分別する習慣をつける
（朝香）



西宮浜のひとびと(36)

竹田 修さん

(桜のまち)



案ずるより産むがやすし

西宮浜のボランティア活動でいつもお世話になっている竹田さんに話を聞きました。

◆ ◆ ◆
★西宮浜に住み始めたきっかけは？

「平成10(1998)年に転居の下見で来た時、電柱がなく、海も山も見える景色に一気に魅せられ、空気が澄んでいて、ぜひ住みたいと感じました」

★西宮浜での過ごし方は？

「退職してから、自発的な見守り活動に参加しました。マリナサポート(学校ボランティア)に登録し、なんでもやっています。悠遊クラブでグラウンドゴルフをする時間も楽しみです。また、保護司も15年務めました」

★責任のある保護司の仕事には、どのような思いで挑まれましたか？

「自分が関わっている人たちが更生に向けて前に進めるように、何とかしてあげたいという気持ちでした。その後、街で出会うと声をかけてくれたりして、真面目に生きられている様子を感じられるのがうれしです。小さい頃は検事になりたかったのですが、保護司として人を支える根幹にもなっているのかもしれない」

★今後の西宮浜への理想は？

「子どもたちが減って静かすぎるので、もっと活気のあるにぎわった街にしたい。地区の運動会のように、老若男女が参加できる機会もほしいです。議会にも若い人たちが参加して、たくさんアイデアが出て、たくさん良いですね」

★最後に、座右の銘を教えてください。

「『案ずるより産むがやすし』。悩んでいるより、自然体でそれなりにずっといけたら…と思っています」

◆ ◆ ◆

竹田さんは、西宮浜を勧めてくれた夫人とのツアー旅行を毎年楽しみに、毎日鷹揚(おうよう)に西宮浜ライフを過ごしています。

(椎木)

「AIで自分のキャラを描こう！」開催報告

西宮浜公民館地域学習推進員会主催

AI(Google Gemini)を使用して自分のイラストを描く講座を、5月に西宮浜公民館で開催しました。講師は、長年広告業界で仕事をしていた田中元信推進員です。IT系の講座は参加者が少ないのですが、今回は田中推進員作成チラシの効果か、当日申し込みの参加者2人を含めて全9人となり、サポーターした3人の推進員でギリギリの人数となりました。

平日開催のため、高齢者が多く「WiFiって…?」「や「アプリって…?」「からの手伝いになりましたが、そこは長年、高齢受講者に鍛えられてきた推進員、受講者ごとに異なるスマホに手間取りながらも、公民館のWiFiに接続し、Geminiを使用してイラスト作成するところまでこぎつけました。



AIによるイラストで力士姿になった今年の推進員たち

力士にしてみせる人、作成したイラストをLINEへ上げる方法を確認してその場で知人に送る人など、自由な発想でAIを使いこなしていました。

質問タイムでは、AIの言葉遣いを砕けたものにする方法や作成した画像の著作権などについて次々と質問が出て、講座終了後も数人は講師と話し込んでいました。

今回は、主に高齢者向けとして平日の昼に開催しましたが、子どもたちや若い人向けも開催したいと考えています。興味のある人は、お待ちしています。

最後に、受講者さんにならって力士姿にした推進員を…。

西宮浜公民館地域学習推進員会＝講座のお知らせ

親子で学ぶお金の知恵

- ・日時：9月23日(水・祝)
- ・講師：キッズマネーサーカス
- ・講座の内容説明：ボードゲームを使って子どもたちにお金の大切さを伝えます

親子で学校給食をつくりませんか?④

- ・日時：10月24日(土)
- ・講師名：西宮市調理員 山口里美(他)
- ・講座の内容説明：人気の学校給食メニューを作ってみなでいただきます